# 平成24年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月12日


上場会社名　旭化学工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7928　URL　http://www.asahikagakukogyo.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 杉浦　武
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 奥村　哲男　TEL 0566-92-4181

定時株主総会開催予定日　平成24年11月27日　配当支払開始予定日　平成24年11月28日
有価証券報告書提出予定日　平成24年11月28日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績　(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年8月期 | 6,436 | 4.1 | 349 | △11.3 | 357 | △7.0 | 262 | △19.0 |
| 23年8月期 | 6,182 | 17.8 | 393 | 5.8 | 384 | 2.1 | 324 | 23.2 |

(注)包括利益　24年8月期　244百万円　(△9.1%)　23年8月期　268百万円　(89.9%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 24年8月期 | 71.91 | ― | 5.8 | 6.5 | 5.4 |
| 23年8月期 | 88.03 | ― | 7.4 | 7.2 | 6.4 |

(参考) 持分法投資損益　24年8月期　―百万円　23年8月期　―百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年8月期 | 5,570 | 4,651 | 83.5 | 1,274.63 |
| 23年8月期 | 5,385 | 4,472 | 83.1 | 1,225.72 |

(参考) 自己資本　24年8月期　4,651百万円　23年8月期　4,472百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 24年8月期 | 591 | △274 | △65 | 1,183 |
| 23年8月期 | 172 | △180 | △114 | 946 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 23年8月期 | ― | 4.00 | ― | 14.00 | 18.00 | 65 | 20.4 | 1.5 |
| 24年8月期 | ― | 4.00 | ― | 11.00 | 15.00 | 54 | 20.9 | 1.2 |
| 25年8月期(予想) | ― | 4.00 | ― | 4.00 | 8.00 | | 20.8 | |

3. 平成25年 8月期の連結業績予想(平成24年 9月 1日～平成25年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,800 | △17.0 | 90 | △54.8 | 100 | △50.2 | 70 | △48.1 | 19.18 |
| 通期 | 5,710 | △11.3 | 180 | △48.4 | 210 | △41.2 | 140 | △46.6 | 38.37 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第14条の7(会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合)に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 14「4. 連結財務諸表(6)会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年8月期 | 3,896,000 株 | 23年8月期 | 3,896,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年8月期 | 246,950 株 | 23年8月期 | 246,776 株 |
| ③ 期中平均株式数 | 24年8月期 | 3,649,153 株 | 23年8月期 | 3,682,247 株 |

(参考)個別業績の概要

1. 平成24年8月期の個別業績(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年8月期 | 3,472 | 5.7 | 64 | △41.4 | 166 | △23.0 | 134 | △35.6 |
| 23年8月期 | 3,286 | △7.7 | 110 | △28.1 | 215 | △3.0 | 208 | 47.7 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年8月期 | 36.78 | ― |
| 23年8月期 | 56.63 | ― |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年8月期 | 4,031 | 3,619 | 89.8 | 992.00 |
| 23年8月期 | 4,000 | 3,563 | 89.1 | 976.63 |

(参考) 自己資本 24年8月期 3,619百万円 23年8月期 3,563百万円

2. 平成25年 8月期の個別業績予想(平成24年 9月 1日～平成25年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,600 | △11.2 | 65 | △30.1 | 45 | △23.7 | 12.33 |
| 通期 | 3,200 | △7.8 | 130 | △21.7 | 90 | △32.8 | 24.66 |

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．経営成績 …… 2
（１）経営成績に関する分析 …… 2
（２）財政状態に関する分析 …… 2
（３）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 …… 3
（４）事業等のリスク …… 4
２．企業集団の状況 …… 5
３．経営方針 …… 6
（１）会社の経営の基本方針 …… 6
（２）目標とする経営指標 …… 6
（３）中長期的な会社の経営戦略 …… 6
（４）会社の対処すべき課題 …… 6
（５）その他、会社の経営上重要な事項 …… 6
４．連結財務諸表 …… 7
（１）連結貸借対照表 …… 7
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 9
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 11
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 13
（５）継続企業の前提に関する注記 …… 14
（６）会計方針の変更 …… 14
（７）連結財務諸表に関する注記事項 …… 14
（セグメント情報等） …… 14
（１株当たり情報） …… 17
（重要な後発事象） …… 17
５．その他 …… 18
（１）代表取締役の異動 …… 18
（２）その他の役員の異動 …… 18
（３）その他 …… 18

## １．経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

#### ①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から脱却し景気はやや回復傾向にありましたが、欧州の金融不安や円高傾向が依然として続き、雇用情勢も好転する気配がなく、景気の先行きは厳しい状況にあります。

当社グループを取り巻く環境は、電動工具業界におきましては、欧州の債務問題や円高の長期化により欧州市場の販売に影響が現れております。しかし、自動車業界はタイの洪水の影響により生産が一時停止しましたが東日本大震災の復興需要が旺盛でありました。

このような状況のなか当社グループでは、中国における最低賃金の引き上げにより引き続き人件費が上昇し原価上昇の要因となりましたが、生産の効率化や不良の削減等に努めました。

この結果、当連結会計年度の売上高は64億36百万円（前期比4.1%増）となりました。一方、経常利益は３億57百万円（同7.0%減）、当期純利益は２億62百万円（同19.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（イ）日本

国内は、電動工具向け製品の震災復興需要が一段落し売上が減少しましたが、自動車向け製品は震災復興需要に支えられ堅調に推移しました。

この結果、売上高は34億72百万円（前期比5.7%増）となりましたが、自動車向け製品の売上増加により荷造運搬費等が増加したこと等により、営業利益は64百万円（同41.4%減）となりました。

（ロ）中国

中国は、電動工具業界の受注増加により、売上高は30億76百万円（同2.5%増）、営業利益は２億29百万円（同6.7%増）となりました。

（ハ）タイ

タイは、平成24年９月稼働予定の準備段階であり、営業損失が15百万円となりました。

#### ②次期の見通し

今後の見通しにつきましては、円高傾向は今後も続き、得意先の国内生産は縮小に向かい海外生産移管が加速するものと思われます。また、欧州の債務問題の長期化により、受注が減少するものと思われます。

当社グループでは、平成23年７月設立のタイ子会社の工場稼働準備を進めてまいりましたが、平成24年９月稼働開始の運びとなりました。当初は国内既存の得意先の海外子会社への営業を強化して、販売の増加と、海外生産のメリットを活かした利益率の向上を目指してまいります。

また、自社ブランドのアンカープラグの既存製品の改良及び新製品の研究開発に注力し、売上高の増加を計ってまいります

この結果、次期の売上高は57億10百万円（前期比11.3%減）、営業利益は１億80百万円（同48.4%減）、経常利益は２億10百万円（同41.2%減）、当期純利益は１億40百万円（同46.6%減）と、タイ工場の人件費と償却負担により次期連結業績は減収減益を予想しております。

### (2) 財政状態に関する分析

#### ①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は前期比１億85百万円増の55億70百万円となりました。これは主に、現金及び預金が３億45百万円、及び有形固定資産が45百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が１億11百万円、たな卸資産が84百万円及び投資有価証券が24百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債合計は前期比６百万円増の９億19百万円となりました。これは主に未払法人税等が33百万円及びその他流動負債が69百万円それぞれ増加しましたが、買掛金が76百万円、及び長期繰延税金負債が17百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産の合計は前期比１億78百万円増加し46億51百万円となりました。これは主に利益剰余金が１億96百万円増加し、その他有価証券評価差額金が12百万円及び為替換算調整勘定が５百万円それぞれ減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期比２億36百万円増の11億83百万円となりました。また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は５億91百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が３億61百万円及び減価償却費が１億99百万円計上されたことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、２億74百万円となりました。これは主に定期預金の純支出が１億円及び有形固定資産の取得による支出が１億76百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は65百万円となりました。これは主に配当金を65百万円支払ったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 平成20年８月期 | 平成21年８月期 | 平成22年８月期 | 平成23年８月期 | 平成24年８月期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 自己資本比率（%） | 77.8 | 85.0 | 82.7 | 83.1 | 83.5 |
| 時価ベースの自己資本比率（%） | 49.9 | 42.2 | 30.3 | 37.5 | 30.5 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年） | ― | ― | ― | ― | ― |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍） | ― | ― | ― | ― | ― |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）１．いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

２．株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

３．キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

４．連結貸借対照表に計上されている有利子負債はありません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への長期にわたる安定的な利益還元、及び企業体質の強化と事業基盤の拡充に必要な内部留保の充実や今後の事業展開などを勘案して、株主の皆様への積極的な利益還元をはかることを基本方針とし、毎期連結当期純利益の20%の配当を行う旨目標を掲げております。

当期の配当につきましては、１株当たり年間15円（中間４円、期末11円）の普通配当を予定しております。内部留保資金につきましては、タイ工場の設備の購入等の設備資金に充当する予定であります。

また、次期の配当につきましては、厳しい業績予想のもと、１株当たり、年間８円（中間４円、期末４円）の普通配当を予想しております。

(4) 事業等のリスク

当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項については、当連結会計年度末現在において判断したものであります。

①特定の顧客への依存

当社グループは、プラスチック製品の成形及び加工を行っておりますが、その販売は特定の顧客に依存しております。この特定の顧客とは、継続的かつ安定した取引関係にありますが、その顧客の生産及び販売の状況によっては、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

②海外市場での活動において

当社グループは、中華人民共和国及びタイ王国に投資活動を行っておりますが、これらの国における政治及び経済の状況の変化は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

③為替変動について

為替変動は、当社グループの外貨建取引から発生する資産及び負債の日本円換算額に影響を与える可能性があります。また、外貨建で取引されている製品の価格に影響を与える可能性があります。これらは、当社グループの業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

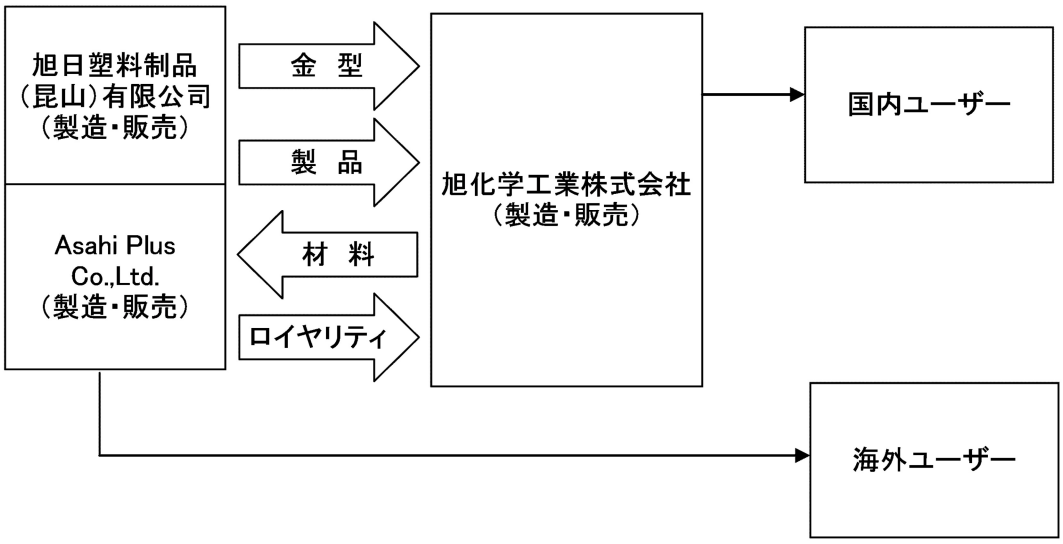
④原材料価格変動の影響について

原油価格の高騰により原材料の樹脂の価格が上昇した場合、当社グループは上昇分を製品価格に転嫁できるように顧客に要請はしますが、この上昇分相当額を製品価格に転嫁できない場合は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

## ２．企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関連会社）は、当社（旭化学工業株式会社)及び子会社２社（旭日塑料制品（昆山）有限公司及びAsahi Plus Co.,Ltd.）により構成されており、事業として電動工具及び自動車部品の樹脂成形、電動工具の組付、樹脂金型の設計製作、並びに自社製品である建築資材の製造販売を事業としております。

事業系統図は次のとおりであります。



## ３．経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「愛されるプラスチックメーカー」を目指して、良い考え［合理化の追求］・良い商品［信頼性の重視］・良い職場［人間性の尊重］を社是として掲げ、「人・物・金は企業にとって限度がある。限度あるものを最高に活かすのが事業である。」との基本理念をもとに、創業以来、企業活動を行っております。

その基本理念のもと、社会のニーズに合った製品を造り出すための研究活動に注力し、技術力を高め、効率のよい生産システムを確立し、お客様及び市場からの評価を高め、収益力の向上と経営基盤の強化を図ってまいります。

### (2) 目標とする経営指標

当社は、当社グループの売上目標を100億円に設定し、毎年10%以上の増収を目指して事業活動を行っておりますが、当期は、前期比4.1%増の64億36百万円の売上となりました。

また、売上高売上総利益率20%を目標とし、売上の増収と共に利益率の向上を目指しております。当期は人件費の上昇等により前期の13.7%から13.0%へ0.7ポイント利益率が減少しました。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループが属するプラスチック業界は、価格競争がますます激化し、得意先からの価格低減も厳しさを増しております。

得意先であります電動工具業界や自動車業界の海外生産も増加の一途をたどっております。当社も2001年に中国に子会社を設立し海外に進出しました。この先もこれら業界の海外生産は増加すると考えられ、当社グループは平成23年７月タイに生産子会社を設立いたしました。このタイ工場は平成24年９月に稼働開始の予定ですが、連結業績に早く貢献できる体制を作りたいと考えております。

また、海外進出に伴い海外派遣社員の人材育成が課題であり、中堅管理者の養成のため教育体制の充実化を図ってまいります。

### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループは、その販売を特定の得意先の特定の業種（電動工具業界及び自動車業界）に依存しております。平成24年８月期におきましては、その特定の得意先の売上高の総売上高に占める割合は、87.1%となります。また、電動工具部品及び自動車部品の売上高の総売上高の占める割合は、90.6%となります。この特定の得意先の動向が当社グループの業績に大きく影響を及ぼします。そのため、自社ブランドのアンカープラグの製品改良や新製品の研究開発に力を注ぎ、その特定の得意先以外への販売の増加を計ってまいります。

### (5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

## ４．連結財務諸表
### （１）連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,463,834 | 1,809,206 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,047,138 | 935,514 |
| 商品及び製品 | 197,328 | 160,903 |
| 仕掛品 | 81,329 | 67,776 |
| 原材料及び貯蔵品 | 144,733 | 110,628 |
| 繰延税金資産 | 19,615 | 18,178 |
| その他 | 54,513 | 71,398 |
| 貸倒引当金 | △520 | △490 |
| 流動資産合計 | 3,007,972 | 3,173,116 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 779,292 | 735,430 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 571,987 | 483,344 |
| 土地 | 826,709 | 917,280 |
| その他（純額） | 44,473 | 131,546 |
| 有形固定資産合計 | 2,222,464 | 2,267,601 |
| 無形固定資産 | 8,307 | 9,385 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 117,094 | 92,541 |
| その他 | 32,773 | 31,037 |
| 貸倒引当金 | △3,183 | △3,176 |
| 投資その他の資産合計 | 146,684 | 120,401 |
| 固定資産合計 | 2,377,456 | 2,397,388 |
| 資産合計 | 5,385,428 | 5,570,505 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 675,307 | 598,743 |
| 未払法人税等 | 18,497 | 52,012 |
| 賞与引当金 | 32,981 | 25,955 |
| 役員賞与引当金 | 11,690 | 13,280 |
| その他 | 122,076 | 191,831 |
| 流動負債合計 | 860,553 | 881,823 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 20,032 | 2,228 |
| 役員退職慰労引当金 | 31,930 | 35,269 |
| 固定負債合計 | 51,962 | 37,497 |
| 負債合計 | 912,515 | 919,321 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 671,787 | 671,787 |
| 資本剰余金 | 729,938 | 729,938 |
| 利益剰余金 | 3,449,538 | 3,646,270 |
| 自己株式 | △132,822 | △132,908 |
| 株主資本合計 | 4,718,440 | 4,915,087 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 31,923 | 19,393 |
| 為替換算調整勘定 | △277,450 | △283,296 |
| その他の包括利益累計額合計 | △245,527 | △263,903 |
| 純資産合計 | 4,472,913 | 4,651,184 |
| 負債純資産合計 | 5,385,428 | 5,570,505 |

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（自　平成22年９月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（自　平成23年９月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 6,182,154 | 6,436,916 |
| 売上原価 | 5,337,453 | 5,602,411 |
| 売上総利益 | 844,701 | 834,505 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造運搬費 | 86,791 | 102,486 |
| 役員報酬 | 58,883 | 62,775 |
| 給与・賞与 | 110,600 | 113,006 |
| 賞与引当金繰入額 | 7,536 | 4,004 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 11,690 | 13,280 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 3,267 | 3,339 |
| 退職給付費用 | 1,722 | 2,118 |
| 厚生費 | 49,639 | 53,707 |
| 貸倒引当金繰入額 | 50 | △36 |
| その他 | 120,695 | 130,686 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 450,876 | 485,368 |
| 営業利益 | 393,825 | 349,136 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 12,898 | 20,565 |
| 受取配当金 | 2,378 | 2,474 |
| その他 | 6,749 | 4,263 |
| 営業外収益合計 | 22,026 | 27,302 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 30,682 | 18,845 |
| その他 | 643 | 64 |
| 営業外費用合計 | 31,325 | 18,910 |
| 経常利益 | 384,526 | 357,529 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | － | 714 |
| 投資有価証券売却益 | － | 6,592 |
| 貸倒引当金戻入額 | 17 | － |
| 保険差益 | 3,452 | 3,414 |
| 特別利益合計 | 3,469 | 10,721 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 3,017 | 577 |
| 固定資産除却損 | 2,180 | 4,472 |
| 会員権等評価損 | － | 1,800 |
| その他 | 4,858 | 382 |
| 特別損失合計 | 10,056 | 7,232 |
| 税金等調整前当期純利益 | 377,939 | 361,017 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 56,821 | 104,258 |
| 法人税等還付税額 | △4,511 | － |
| 法人税等調整額 | 1,495 | △5,658 |
| 法人税等合計 | 53,806 | 98,599 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 324,133 | 262,418 |
| 当期純利益 | 324,133 | 262,418 |

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（自　平成22年９月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（自　平成23年９月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 324,133 | 262,418 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,946 | △12,529 |
| 為替換算調整勘定 | △71,573 | △5,846 |
| その他の包括利益合計 | △55,627 | △18,375 |
| 包括利益 | 268,506 | 244,042 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 268,506 | 244,042 |
| 少数株主に係る包括利益 | － | － |

（３）連結株主資本等変動計算書

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（自　平成22年９月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（自　平成23年９月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 671,787 | 671,787 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | － | － |
| 当期末残高 | 671,787 | 671,787 |
| 資本剰余金 | | |
| 当期首残高 | 729,938 | 729,938 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | － | － |
| 当期末残高 | 729,938 | 729,938 |
| 利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 3,181,226 | 3,449,538 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △41,224 | △51,089 |
| 剰余金の配当（中間配当額） | △14,596 | △14,596 |
| 当期純利益 | 324,133 | 262,418 |
| 当期変動額合計 | 268,311 | 196,732 |
| 当期末残高 | 3,449,538 | 3,646,270 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △74,005 | △132,822 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △58,817 | △85 |
| 当期変動額合計 | △58,817 | △85 |
| 当期末残高 | △132,822 | △132,908 |
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 4,508,946 | 4,718,440 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △41,224 | △51,089 |
| 剰余金の配当（中間配当額） | △14,596 | △14,596 |
| 当期純利益 | 324,133 | 262,418 |
| 自己株式の取得 | △58,817 | △85 |
| 当期変動額合計 | 209,494 | 196,646 |
| 当期末残高 | 4,718,440 | 4,915,087 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（自　平成22年９月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（自　平成23年９月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 15,976 | 31,923 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 15,946 | △12,529 |
| 当期変動額合計 | 15,946 | △12,529 |
| 当期末残高 | 31,923 | 19,393 |
| 為替換算調整勘定 | | |
| 当期首残高 | △205,876 | △277,450 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △71,573 | △5,846 |
| 当期変動額合計 | △71,573 | △5,846 |
| 当期末残高 | △277,450 | △283,296 |
| その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △189,900 | △245,527 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △55,627 | △18,375 |
| 当期変動額合計 | △55,627 | △18,375 |
| 当期末残高 | △245,527 | △263,903 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 4,319,046 | 4,472,913 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △41,224 | △51,089 |
| 剰余金の配当（中間配当額） | △14,596 | △14,596 |
| 当期純利益 | 324,133 | 262,418 |
| 自己株式の取得 | △58,817 | △85 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △55,627 | △18,375 |
| 当期変動額合計 | 153,867 | 178,270 |
| 当期末残高 | 4,472,913 | 4,651,184 |

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（自　平成22年９月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（自　平成23年９月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 377,939 | 361,017 |
| 減価償却費 | 225,798 | 199,835 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 6,215 | △7,088 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | 3,295 | 1,590 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | △150,502 | 3,339 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △46 | △36 |
| 受取利息及び受取配当金 | △15,277 | △23,039 |
| 為替差損益（△は益） | 2,858 | △545 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | － | △6,592 |
| 有形固定資産売却損益（△は益） | 3,017 | △137 |
| 有形固定資産除却損 | 2,180 | 4,472 |
| 会員権等評価損 | － | 1,800 |
| 保険差益 | △3,452 | △3,414 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △273,660 | 114,996 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △100,608 | 85,801 |
| その他の流動資産の増減額（△は増加） | △16,104 | △12,483 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 205,260 | △79,746 |
| 未払費用の増減額（△は減少） | 4,669 | 2,443 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △9,597 | 4,143 |
| その他の流動負債の増減額（△は減少） | 3,690 | △5,051 |
| その他 | 128 | － |
| 小計 | 265,803 | 641,304 |
| 利息及び配当金の受取額 | 14,411 | 13,921 |
| 保険金の受取額 | － | 7,848 |
| 法人税等の支払額 | △112,310 | △71,097 |
| 法人税等の還付額 | 4,511 | － |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 172,416 | 591,978 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △196,486 | △280,441 |
| 定期預金の払戻による収入 | 180,000 | 180,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6,715 | △7,979 |
| 投資有価証券の売却による収入 | － | 15,391 |
| その他投資等の取得による支出 | △1,503 | △2,048 |
| その他投資等の売却による収入 | 16,784 | － |
| 有形固定資産の取得による支出 | △172,921 | △176,228 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 4,164 | 1,221 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,754 | △4,408 |
| その他 | － | 33 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △180,432 | △274,460 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △58,817 | △85 |
| 配当金の支払額 | △55,741 | △65,789 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △114,558 | △65,875 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △21,177 | △15,126 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △143,752 | 236,516 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,090,312 | 946,560 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 946,560 | 1,183,076 |

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益への影響は軽微であります。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

当連結会計年度（自平成23年９月１日　至平成24年８月31日）

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、プラスチック製品の成形加工事業の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国を旭日塑料制品（昆山）有限公司が、タイをAsahi Plus Co.,Ltd.がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」及び「タイ」の３つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、電動工具部品、自動車部品及びその他のプラスチック製品を生産・販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自平成22年９月１日　至平成23年８月31日）　（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注１） | 連結財務諸表計上額（注２） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日本 | 中国 | タイ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,286,103 | 2,896,051 | － | 6,182,154 | － | 6,182,154 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | 106,114 | － | 106,114 | △106,114 | － |
| 計 | 3,286,103 | 3,002,166 | － | 6,288,269 | △106,114 | 6,182,154 |
| セグメント利益 | 110,689 | 215,294 | － | 325,983 | 67,841 | 393,825 |
| セグメント資産 | 4,000,238 | 2,151,330 | 41,155 | 6,192,724 | △807,295 | 5,385,428 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 155,639 | 70,158 | － | 225,798 | － | 225,798 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 66,094 | 110,896 | － | 176,990 | － | 176,990 |

(注) １.調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

２.セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自平成23年９月１日　至平成24年８月31日）　（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注１） | 連結財務諸表計上額（注２） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日本 | 中国 | タイ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,472,168 | 2,964,748 | － | 6,436,916 | － | 6,436,916 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 280 | 111,823 | － | 112,103 | △112,103 | － |
| 計 | 3,472,448 | 3,076,572 | － | 6,549,020 | △112,103 | 6,436,916 |
| セグメント利益 | 64,862 | 229,617 | △15,100 | 279,379 | 69,756 | 349,136 |
| セグメント資産 | 4,031,199 | 2,265,281 | 630,597 | 6,927,078 | △1,356,572 | 5,570,505 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 125,212 | 74,572 | 49 | 199,835 | － | 199,835 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 22,260 | 23,162 | 204,108 | 249,531 | － | 249,531 |

（注）１.調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
２.セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（関連情報）

前連結会計年度（自平成22年９月１日　至平成23年８月31日）

１．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90％を超えるため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

（１）売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

（２）有形固定資産　（単位：千円）

| 日　本 | 中　国 | タ　イ | 合　計 |
|---|---|---|---|
| 1,618,113 | 604,350 | － | 2,222,464 |

３．主要な顧客ごとの売上高　（単位：千円）

| 顧客の氏名又は名称 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|---|---|---|
| 牧田（昆山）有限公司 | 1,776,573 | 中国 |
| 株式会社マキタ | 1,378,867 | 日本 |
| 株式会社イノアックコーポレーション | 1,254,106 | 日本 |
| 牧田（中国）有限公司 | 1,095,044 | 中国 |

当連結会計年度（自平成23年９月１日　至平成24年８月31日）

１．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90％を超えるため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

（１）売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

（２）有形固定資産　（単位：千円）

| 日　本 | 中　国 | タ　イ | 合　計 |
|---|---|---|---|
| 1,512,662 | 550,879 | 204,059 | 2,267,601 |

３．主要な顧客ごとの売上高　（単位：千円）

| 顧客の氏名又は名称 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|---|---|---|
| 牧田（昆山）有限公司 | 2,044,032 | 中国 |
| 株式会社マキタ | 1,088,113 | 日本 |
| 株式会社イノアックコーポレーション | 1,612,773 | 日本 |
| 牧田（中国）有限公司 | 890,603 | 中国 |

（報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報）

前連結会計年度（自平成22年９月１日　至平成23年８月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年９月１日　至平成24年８月31日）

該当事項はありません。

（報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報）

前連結会計年度（自平成22年９月１日　至平成23年８月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年９月１日　至平成24年８月31日）

該当事項はありません。

（報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報）

前連結会計年度（自平成22年９月１日　至平成23年８月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年９月１日　至平成24年８月31日）

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

| 前連結会計年度<br>（自　平成22年９月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（自　平成23年９月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|
| １株当たり純資産額　1,225円72銭<br>１株当たり当期純利益金額　88円03銭<br>なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | １株当たり純資産額　1,274円63銭<br>１株当たり当期純利益金額　71円91銭<br>なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 |

（注）　１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度<br>（自　平成22年９月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当連結会計年度<br>（自　平成23年９月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| １株当たり当期純利益金額 | | |
| 当期純利益（千円） | 324,133 | 262,418 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | － | － |
| 普通株式に係る当期純利益（千円） | 324,133 | 262,418 |
| 期中平均株式数（千株） | 3,682 | 3,649 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 平成17年11月25日定時株主総会決議による新株予約権方式のストック・オプション（株式の数119,500株）。 | － |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## ５．その他

(1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の異動

該当事項はありません。

(3) その他

該当事項はありません。